

(1) 第5学年 総合的な学習の時間「情報を生活に役立てようⅢ」

本時の目標

- SNS のよさと危険性を学び、トラブルに巻き込まれないようにするため、どんなことに気をつければよいか考えることができる。

情報活用能力の育成

- 事例で学ぶ Net モラルより「ネットで会う約束をしない」「写真の投稿」をグループが1つずつ動画を視聴し、登場人物の SNS の使い方の課題をそれぞれまとめる。2つの動画から共通する課題【個人情報を流出させない】ということが、SNS を利用する際の留意点であることを理解する。

1 SNS にはどんなものがあるか出し合う。

- YouTube
- Twitter
- インスタグラム
- ティックトック 等

3 2つの動画を視聴して危険だと思うことを出し合う



5 2つの動画の危険な行動から、SNS を使うときに気をつけることを考え、振り返りをする。

- 個人情報が特定されないように投稿する。
- 知らない人を信じ切って約束をしない。
- 個人情報は簡単に流出してはいけない。

2 SNS のよい点と不安に思うことを出し合う。

よい点

- 情報を共有できる。
- 友達と会わなくても連絡が取れる。
- 動画や写真を見て楽しめる。
- 世界中とつながる。

不安に思うこと

- 依存してしまいそう。
- 知らない人と交流してトラブルになりそう。
- 個人情報が流出しそう。
- いじめや悪口
- 危険な SNS があると聞いたことがある。

4 2つの動画を見て、危険だと思う行動はどこかな。

○動画を見て危険だと思ったこと

- ① 個人情報がわかる写真をたくさん投稿した。
自分だけではなく周りの情報もばらしてしまっている。
- ② 知らない人とメッセージのやり取りをした。
知らない人に個人情報を教えたり、会う約束をしたりした。



【本時のGOAL】

- SNS のよさ、困ったこと、課題をまとめ、よいところもたくさんあるが、個人情報を安易に流出させてはいけないことを理解することができる

振り返り

- 5年生までに情報モラルを学習していることもあり、動画の登場人物の行動の課題はスムーズにまとめることができた。また、2つの動画の共通点を見つけ、なぜ危険なのかや、自分たちが SNS を使用する際に気をつけることを振り返ることができた。2つの動画を視聴することで1つの場面での課題以外にも目を向けられるが、ストーリーを伝え合うところに困難さがあった。

児童の振り返り

危機感を持って SNS を使うようにして、個人情報を流出させないようにする。
知らない人と約束をしたり、友達の情報を流したりもしないように気をつける。